

ANNOUNCE TEXTBOOK

製作
広島県立呉三津田高等学校放送部
～MBS～

発声練習

発声練習をすることによって、安定した声を出す手助けとなる。できるだけ、毎日しよう。
腹式呼吸：喉に力を入れずリラックスした姿勢で・目標物を決めてということに注意しよう。
*スタツカート・各行発音練習・あめんぼの唄・滑舌五十音練習・ロングトーンの順番で行っている。

腹式呼吸 ロングトーン

1. 息を吐ききる
2. 鼻から静かに息を吸う
3. 一瞬息を止める
4. ① 腹筋を意識して口から一定量の息をゆっくり長く吐く
② 「オ」の口構えで声を出す

リラックスした姿勢で・腹筋の力で・縦に開ける口の形で・一定の声の大きさで
*横になってやると、分かりやすい。おながが上下する。

スタツカート

1. 腹式呼吸の1〜3をする
2. 「ア」の口構えで1秒に2回くらいのペースで声を出す
(注意) 腹筋を意識して・おながが上下するように
*30回×2セット行う。

各行発音練習

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ア | エ | イ | ウ | エ | オ | ア | オ | カ | ケ | キ | ク | ケ | コ | カ | コ |
| サ | セ | シ | ス | セ | ソ | サ | ソ | タ | テ | チ | ツ | テ | ト | タ | ト |
| ナ | ネ | ニ | ヌ | ネ | ノ | ナ | ノ | ハ | ヘ | ヒ | フ | ヘ | ホ | ハ | ホ |
| マ | メ | ミ | ム | メ | モ | マ | モ | ヤ | エ | イ | ユ | エ | ヨ | ヤ | ヨ |
| ラ | レ | リ | ル | レ | ロ | ラ | ロ | ワ | エ | イ | ウ | エ | オ | ワ | オ |
| ガ | ゲ | ギ | グ | ゲ | ゴ | ガ | ゴ | ザ | ゼ | ジ | ズ | ゼ | ゾ | ザ | ゾ |
| ダ | デ | ヂ | ヅ | デ | ド | ダ | ド | バ | ベ | ビ | ブ | ベ | ボ | バ | ボ |
| パ | ペ | ピ | プ | ペ | ポ | パ | ポ | キ | キ | エ | キ | キ | エ | キ | キ |
| シ | ヤ | シ | エ | シ | ヨ | シ | ヤ | チ | ヤ | チ | エ | チ | ヨ | チ | ヤ |
| ニ | ヤ | ニ | エ | ニ | ヨ | ニ | ヤ | ヒ | ヤ | ヒ | エ | ヒ | ヨ | ヒ | ヤ |
| ミ | ヤ | ミ | エ | ミ | ヨ | ミ | ヤ | リ | ヤ | リ | エ | リ | ヨ | リ | ヤ |
| ギ | ヤ | ギ | エ | ギ | ヨ | ギ | ヤ | ジ | ヤ | ジ | エ | ジ | ヨ | ジ | ヤ |
| ビ | ヤ | ビ | エ | ビ | ヨ | ビ | ヤ | ピ | ヤ | ピ | エ | ピ | ヨ | ピ | ヤ |
| カ | ケ | キ | ク | ケ | コ | カ | コ | キ | ヤ | キ | エ | キ | ヨ | キ | ヤ |

(鼻濁音)

*「ヲ」は「オ」の発音です。滑舌五十音練習も同様。

あめんぼの唄 北原白秋

| | | | | | |
|-------|-------|-------|------|-------|-------|
| あめんぼ | 赤いな | アイウエオ | 浮き藻に | 小エビも | 泳いでる |
| 柿の木 | 栗の木 | カキケコ | きつつき | こつこつ | 枯れけやき |
| ささげに | 酢をかけ | サシスセソ | その魚 | 浅瀬で | 刺しました |
| 立ちましょ | ラツパで | タチツテト | トテトテ | タツタと | 飛び立った |
| なめくじ | のろのろ | ナニヌネノ | 納戸に | ぬめって | 何粘る |
| 鳩ぼっぼ | ほろほろ | ハヒフヘホ | 日なたの | お部屋にや | 笛を吹く |
| まいまい | ネジ巻き | マミムメモ | 梅の実 | 落ちても | 見もしまい |
| 焼き栗 | ゆで栗 | ヤイユエヨ | 山田に | 灯のつく | 宵の家 |
| 雷鳥は | 寒かる | ラルルレロ | 蓮華が | 咲いたら | 瑠璃の鳥 |
| わいわい | わっしょい | ワイウエオ | 植木屋 | 井戸替え | お祭りだ |

滑舌五十音練習

| | | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| アイウエオ | イウエオア | ウエオアイ | エオアイウ | オアイウエ |
| カキクケコ | キクケコカ | クケコカキ | ケコカキク | コカキクケ |
| サシスセソ | シスセソサ | スセソサシ | セソサシス | ソサシスセ |
| タチツテト | チツテトタ | ツテトタチ | テトタチツ | トタチツテ |
| ナニヌネノ | ニヌネノナ | ヌネノナニ | ネノナニヌ | ノナニヌネ |
| ハヒフヘホ | ヒフヘホハ | フヘホハヒ | ヘホハヒフ | ホハヒフヘ |
| マミムメモ | ミムメモマ | ムメモマミ | メモマミム | モマミムメ |
| ヤイユエヨ | イユエヨヤ | ユエヨヤイ | エヨヤイユ | ヨヤイユエ |
| ラルルレロ | ルルレロラ | ルレロラリ | レロラリル | ロラリルレ |
| ワイウエワ | イウエワウ | ウエワワイ | エワワイウ | ワワイウエ |
| ガギゲグゴ | ギゲグゴガ | グゲグゴギ | ゲゴギゲグ | ゴガギゲグ |
| ザジズゼゾ | ジズゼゾザ | ズゼゾザジ | ゼゾザジズ | ゾザジズゼ |
| ダヂヅデド | ヂヅデドダ | ヅデドダヂ | デドダヂヅ | ドダヂヅデ |
| バビブベボ | ビブベボバ | ブベボバビ | ベボバビブ | ボバビブベ |
| パピプペポ | ピプペポパ | プペポパピ | ペポパピプ | ポパピプペ |
| キヤキユキエキヨ | キユキエキヨキヤ | キユキエキヨキヤ | キユキエキヨキヤ | キユキエキヨキヤ |
| シヤシユシエシヨ | シユシエシヨシヤ | シユシエシヨシヤ | シユシエシヨシヤ | シユシエシヨシヤ |
| チャチユチエチヨ | チユチエチヨチャ | チユチエチヨチャ | チユチエチヨチャ | チユチエチヨチャ |
| ニヤニユニエニヨ | ニユニエニヨニヤ | ニユニエニヨニヤ | ニユニエニヨニヤ | ニユニエニヨニヤ |
| ヒヤヒユヒエヒヨ | ヒユヒエヒヨヒヤ | ヒユヒエヒヨヒヤ | ヒユヒエヒヨヒヤ | ヒユヒエヒヨヒヤ |
| ミヤミユミエミヨ | ミユミエミヨミヤ | ミユミエミヨミヤ | ミユミエミヨミヤ | ミユミエミヨミヤ |
| リヤリユリエリヨ | リユリエリヨリヤ | リユリエリヨリヤ | リユリエリヨリヤ | リユリエリヨリヤ |
| ギヤギユギエギヨ | ギユギエギヨギヤ | ギユギエギヨギヤ | ギユギエギヨギヤ | ギユギエギヨギヤ |
| ジャジユジエジヨ | ジユジエジヨジャ | ジユジエジヨジャ | ジユジエジヨジャ | ジユジエジヨジャ |
| ビヤビユビエビヨ | ビユビエビヨビヤ | ビユビエビヨビヤ | ビユビエビヨビヤ | ビユビエビヨビヤ |
| ピヤピユピエピヨ | ピユピエピヨピヤ | ピユピエピヨピヤ | ピユピエピヨピヤ | ピユピエピヨピヤ |

「か」とかいてあるのは、鼻濁音である。これは、**が行**の音が鼻から抜いた柔らかい音になるようなことである。舌の奥を軟口蓋につけたまま、「ン」を発音して、舌をゆっくりと離す。

ただし、軟口蓋につけすぎて、息苦しくならないように注意する。鼻濁音を使うのは、以下の場合である。

- 1、助詞の「が」 (例) 花か咲く。
- 2、第2音節以後のが行の音 (例) 授業(じゅきよう) 映画館(えーかかん)
(例外) が行の前の音が「ん」の時 (例) 看護師(かんごし)
- 3、2つの単語が一緒になって結びつきが強いもの

(例) 中学校(ちゅうかっこう) 株式会社(かぶしきかいしゃ)
(例外) 高等学校(こうとうがっこう) : 結びつきが弱いため。

鼻濁音を使わない場合

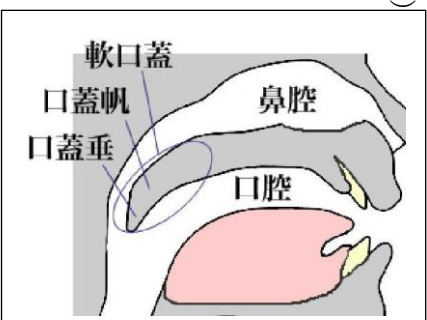
- 1、第1音節のが行の音 (例) 学校(がっこう) 呉越同舟(ごえつどうしゅう)
- 2、数字 (例) 15歳(じゅうごさい)
(例外) 十五夜(じゅうごや) 七五三(しちごさん) : 数字本来の意味が薄れたため。
- 3、接頭語がついた第2音節 (例) お行儀(おぎょうぎ)
- 4、外来語、外国語、擬声語、同じ音の繰り返し
(例) エネルギー プログラム ガサガサ ぐずぐず

【練習】次の文の鼻濁音は？

- 1、お昼ご飯は、ハンバーグとごま和えとうさぎりんどだった。
- 2、今日はご機嫌うかがいになりましたが、みなさんお元気でした。
- 3、午後5時55分から合格発表があり、中学生が次々と号泣していた。

各音節の発音要領

- (ア) 自然な構えであごを大きく開く。唇は丸めない。指2本がやっと入る程度にあける。舌はあごと一緒に下げる。
- (イ) あごはほとんど開かず、唇は平たくわずかにあけ、両端をやや左右に引く。
- (ウ) あごは解いて、唇の両端を左右から中央へやや寄せせる。下の奥を高くして、上あごの奥のほうへ近づける。唇はあまり丸くならない。
- (エ) あごは(ア)(イ)の中間程度に開く。唇の両端をやや左右に引く。
- 舌の前の部分を(ア)のときより前に高く持ち上げて出す。
- (オ)(ウ)のときよりあごを開く。唇は(ウ)のときより丸めて、下の奥を半ば上げて出す音。
- 舌の位置が(ア)のときより後ろに持ち上げられる。唇は5つの母音の中で一番丸くして発音する。



無声化

これは文字通り「声帯の振動がなくなる」という意味である。ひそひそ話をイメージすればよい。このときには喉がふるえない。どの言葉もゆっくり発音すれば、無声化しないが、日常的な言葉遣いの速さでは、有声化しない現象が出てくる。これにより、歯切れよく聞こえる。

無声化するとき

1、母音がイ(i)又はウ(u)が無声子音(k・s・t・h・p)にはさまれたとき

(例) 北(kitaのi) カ(chikaraのi) 深く(fukaiのu)

2、無声子音に続く(ɸ)又は(ɸ)が文章の終わりにあるとき

(例) います(imasuのɸ) お菓子(okasiのi)

* 言葉の終わりにアクセントがついている場合は無声化しない

例外の場合

1、無声化すると意味が分からなくなる場合 (例) 子孫

2、無声化が2度連続する場合 (例) つくつくぼうし

* 3度以上の場合是最初と最後のみ無声化をする。

【練習】無声化するところは？

1、今日の服は、菊柄のブラウスに草色のスカートと普通の靴下です。

2、袋井君の好きな花は、確かシクラメンとコスモス。

3、歴史の授業が終わった直後、疾風迅雷の速さで、住川先生に質問した。

4、控え室であのふっくらした人が実はふかふかの布団が嫌いなことを聞きつけた。

聞き手に聞く話の方向を、わかるように話す

日常的な会話では、私たちは聞き手の反応を確かめながら話します。聞き手が理解していないと感じたら、繰り返したり、言いかえをしたりします。ところが、放送の場合、聞き手の反応はその瞬間にはわかりません。また、聞き手の側に「聞く準備」ができていないことの方が多いためです。

一方通行の状態で情報を伝えるのですから、自分の「満足」や「つもり」ではなく、聞き手にわかる話し方で話すことが必要です。すなわち、

だれにもわかる

すぐわかる

はっきりわかる

を心がけることです。声の出し方、口の開け方、言葉の選び方、話題の組み立て方などのすべてにおいて、聞き手の立場に立った話し方になっているかを常にふり返りましょう。

アクセント

- * アクセントとは：社会的な慣習として定まっている、一つ一つの語についての音の高低や強弱の配置。
- * 日本語のアクセントは、高低アクセント。
- * 共通語のアクセントの原則

1. 第一音と第二音は高さが必ず違う。
例 「山」：「ヤ」が低く「マ」が高い。
2. 語の中で高くなる所は一カ所。
例 「山登り」：「マノ」の部分だけが高くなる。

- * アクセントの表記：高い音の所に線を引き、下がる所はカギをつける。
助詞などがついても音の高さが変わらない場合はカギをつけない。

1. 頭高型 ウミ(海) ツバキ(椿) タイヨウ(太陽)
2. 中高型 ミズウミ(湖) ヤマザクラ(山桜)
3. 尾高型 カワ(川) キク(菊) ツキ(月)
4. 平板型 ミズ(水) サクラ(桜) チキユー(地球)

助詞の「が」がついたとき、「カワガ(川が)」のように「が」が下がるのが尾高型。
「ミズガ(水が)」のように「が」が下らないのが平板型。

- * アクセントの平板化傾向：アクセントは時代とともに変わっていくものだが、若い世代ではよく見られる平板アクセントでも、まだ認められないものも多いので、注意が必要。

例 平板型が認められた語：ドラム サークル ナレーション
試写会 抗がん剤
平板型が認められない語：ギター ドラマ 世界史 図書館

| | | | | | |
|------|-------|-----|---------|-----|--------|
| * 一月 | イチガツ | 二月 | ニガツ | 三月 | サンガツ |
| 四月 | シガツ | 五月 | ゴガツ | 六月 | ロクガツ |
| 七月 | シチガツ | 八月 | ハチガツ | 九月 | クガツ |
| 十月 | ジューガツ | 十一月 | ジューイチガツ | 十二月 | ジューニガツ |

- * 『日本語発音アクセント辞典』をひいてみよう。
活用語が活用した場合、尾高型の名詞に助詞の「の」がつく場合、語が複合した場合などには、アクセントの変化が起こる。『日本語発音アクセント辞典』の付録を参照しよう。

【練習】次の言葉のアクセントは？ 実際に発音してみよう。

1. ハシ(橋)を使う。 ハシ(端)を使う。 ハシ(箸)を使う。
2. アツイ(暑い)夏。 アツイ(厚い)本。 アツイ(熱い)お茶。
3. ムシ(虫)をムシ(無視)シナガラ(ながら)、ムシ(蒸し)物を食べる。
4. サンバン(3番)のモンダイ(問題)を解いてイル(いる)トキ(時)に、
センセイ(先生)がやってきて、マチガイ(間違い)をセツメイ(説明)した、というコト(こと)だ。

イントネーション

- * イントネーションとは： 文全体の高低関係。文のどこを高く発音し、どこを低くするかという、「文アクセント」。
- * 文の意味を決める上で**重要な要素**。
- * 伝えるべき内容に応じて、イントネーションを考える。
 - ふつうは出だしが高く、次第に下がっていく。
 - 文の中で特に伝えたいポイントになる部分や、固有名詞・数値などの情報に注意。
 - 長い文の場合の立て直しをどこで行うかに注意。

【練習】「明日は息子の入学式です。」を次のような意味で、イントネーションの違いで表現してみよう。

1. 昨日でも今日でもなく、明日なのよ。
2. 弟じゃなくて、かわいいかわいい息子なのよ。
3. うちの子も、大きくなったわね。

「その文では、どういう意味を伝えようとしているのか」という解釈を、前後の文脈を慎重に検討して行おう。

- * いくつかの修飾句がついた長い文の場合、まず語句どうしの関係をはっきりさせて、主語―述語のような骨組みの上に、次第に修飾句を増やしていくように練習すると、**高↓低**のイントネーションで読む練習になる。

間ポーズ

「間は魔なり」：アナウンスや朗読を生かすも殺すも「間」。

- * 生理的な「間」 話し手が息つぎのためにとる間。

- * 意識的な「間」 聞き手が情報を誤りなく理解するための間。

← 文章の内容が要求している間をあやつれるようにしなくてはならない。
書き言葉の「句点」(・)に従うとは限らない。

← 腹式呼吸や発声練習で、「生理的な間」を調節できるようにする。
文章の解釈によって、どこでどれくらいの間が必要かを考える。

【練習】間を意識して、「地震、雷、火事、親父というが、最近親父は、自信喪失。」を読んでみよう。

その他の技法

① プロミネンス

文中の語句（音節）又はその一部分が、重要であったりはっきり伝えたいというときに、音の強弱をつけ強調して読むこと。主に朗読で使用する。

② 速度 緩急

速度は間と同様に文章を読むペースを作る上で重要な要因のひとつである。

発音練習

*しっかりと声をだして行おう。

(ア)

- ・青は藍より出でて藍より青し。
- ・あの雨蛙の足跡はあてにならない。
- ・ありとあらゆる場所を探したが、あればあるで使ってしまうので、金のあるうはずがない。

・赤い網には、アマダイがある。

・赤いインクと青い色鉛筆で絵を描いた。

・雨振る日に、飴を振る。

・アクセサリーがあたりはず、

あてが外れて後から悔やむ。

(イ)

- ・言い分があつて言おうとしたが、威圧されていえなかった。
- ・いやいやもらったいよかんだが、いよいよなくなると欲しくなる。
- ・息を切らして印刷所まで駆けつけた。

・茨城生まれでいびきが大きく、右手のいぼが特徴の井上さん。

・威勢のいい医者は昨日はいきいきとしていたが、今は胃もたれで意気消沈。

・「殷鑑遠からず。」とはよく言ったものです。

(ウ)

- ・歌を歌おうとしたがうかつにも歌の文句を忘れてうたえない。
- ・馬の上から梅干しを食べて後ろを見た。
- ・うぬぼれはうようよいるが、敬われる人は少ない。

・瓜売りが瓜売りにきて瓜売り残り

売り売り帰る瓜売りの声。

・海の家でうきわを借りて、

膿が生まれて泳げない。

・田植えを早朝、雨天の中することを請け負う。

(エ)

- ・絵姿になる江差追分の踊り手を
絵師は探している。
- ・えんえんと苗を選びすぎる。
- ・柄のないところに柄を上げる。
- ・エレベーターからSOSのサイン。

・縁起を担いで恵方詣、縁は異なるもの。

・英国の映画俳優の絵が描いてある絵葉書。

・沿道に咲くエンドウの花をみながら、

駅の前で液体を作った。

・柄が欠けて、絵が描けた。

(オ)

- ・老いておうたを教えられた。
- ・青鬼はオニオンが苦手、赤鬼が食べる。
- ・おばさまのお庭のお池のおハスのお葉にお蛙のお子がお三匹お止まりあそばして、おかわいのお目をおばちくり、おばちくり。

・お礼にもらったおわんをお留守に

棚から下ろしてお叱りを受けた。

・思う人には思われず、

思わぬ人に思われる。

・おいおい、お前はおねえなのか。

(カ行)

- ・秋たけて菊薫る季節に
中小商工業振興会議を開催する。
- ・菊桐 菊桐 三菊桐
あわせて菊桐 六菊桐。
- ・関東から今日京見物に来た観光客。
- ・この杭の釘は引き抜きにくい。

(サ行)

- ・佐藤さんに搾取しろと指図する。
- ・試作して試写しろと使者に示唆する。
- ・新設診察室を視察され、自尊心を損なう。
- ・親切な政治学の先生が確かに
西欧の政治形態の補習をしていた。
- ・隅につんだ炭からスズで作った鈴が出た。

(タ行)

- ・竹垣に立てかけた竹に
畳を立てかけ日をあてた。
- ・旅に出るときに足袋をはいて、
- ・当時の冬至によく湯治に出かけた。
- ・殿様の長袴と若殿様の小長袴。

(ナ行)

- ・長持ちの上に生麦・生米・生卵。
- ・親に似ぬ子は鬼の子。
- ・長野の七曲がりは長い七曲がり、
三七曲がりに六七曲がり。
- ・ぬめぬめしたなめこは沼に成る。

(ハ行)

- ・東北地方の特派員の報告が入った。
- ・前半奮闘しすぎて、後半疲労する。
- ・やしの実をヒヒが食い、
ひしの実を獅子が食う。
- ・広島の畑で火鉢を縛る。

- ・貨客船の旅客は貨物と一緒だから、
旅客運賃が安価になるのかな。
- ・日本銀行国庫局でのテーマ曲はこれだ。
- ・クレーマーのクオリティーは低い。
- ・けちけちしたケチャップの使い方。
- ・規格品ではなく危機一髪だった。

- ・潮の引いた昼下がり、広い干潟で潮干狩り。
- ・笹原で笹の葉がさらさらそよいでいます。
- ・生産者の申請書審査を観察された。
- ・そろいもそろって粗暴で粗悪な奴らが
コソコソ粗品をどうするか相談していた。
- ・セキセイインコがせっせと勢ぞろい。

- ・地質学的知識をもつ中学生。
- ・暖かくなる曇りの天気はおおはずれ。
- ・玉虫が戦う間、卵を食べた。
- ・父が立ち、土を敷き詰める。
- ・つつじの花を包んでいたら、捕まった。

- ・虹が出るのは二時ちようど、
庭には二羽のにわとりがいる。
- ・ののしった声も、寝耳に水。
- ・寝た子の寝床の近くの子猫が
あの野ねずみを狙っている。

- ・ひどい雨を避難したひさしの下で、
額にしずくが一しずくかかった人だ。
- ・母の祖父と父の母は、批評家仲間です。
- ・不幸で夫婦がふかふかした布団がいいと
不服を言ったのがきっかけで、不倫を始めた。

(マ行)

- ・まあまあ丸くまとまり、
まずまず結構なのです。
- ・森の木兵衛、最中をもぐもぐ、
もつともぐもぐ、文句ももぐもぐ、
もぐもぐもぐもぐ六もぐもぐ。

- ・右の耳に耳輪が三つある名士に面識なし。
- ・ムスリムが無理に結んだ結び目は六つ。
- ・眼医者の名声は明々白々。
- ・南区の皆様は右手で身分証明証を
お見せし、湖の前をお通りください。

(ヤ行)

- ・お綾や、八百屋で母親にお謝りなさい。
- ・八日の夜の夜回り夜通しよろしく。
- ・山の上から雪の夜景。
- ・ゆくゆくはユネスコスクールに行きたい。

- ・よぼよぼの吉田さん、いよいよ予防接種。
- ・ユーカーの葉がゆさゆさ揺れる。
- ・ゆゆしい由来の雪見だいふくにより、
野望が破れる夢を見るのはいやだ。

(ラ行)

- ・いらいらするから笑われる、
照れるからからかわれる、
でれでれするから侮られる。
- ・治療中のらくだの泥だらけの体。
- ・ラジオでの団らん、蘭ちゃんはランラン。

- ・見学旅行中、流行病で入院療養中の旅客は
アンリと言う名の留学生だ。
- ・老人が六人で最良の料理を持って、
廊下をそろそろと歩いている。
- ・ルールを破ると、流浪する。

(ワ行)

- ・わが国の俵は私の瓦だ。
- ・若者達とわいわい騒いでいたら、
わらの上でわなにかかったわにがいた。

- ・笑わば笑え、わらわは笑えない我はいらない。
- ・われわれが造った和室の鷲は若々しい、
悪い若夫婦が沸き立った。

(ガ行)

- ・崖上の学校の頑固な学生が、
窓ガラスをがんがんたたいて
ガリガリ先生にガミガミがなられた。
- ・呉越同舟とは言語道断だ。
- ・がまがえるの学校のお行儀はいい。

- ・義歯・義手・義足・義眼おまけに
ぎっくり腰の義兄を義理で扶養する義務がある。
- ・ぐうたらでグループがぐんぐん群を抜いて
軍人も群衆もぐうの音もでなかった。
- ・下戸な下手人、激務の仕事にギブアップ。

(ザ行)

- ・漸次増税で絶体絶命。
- ・自画自賛だから、自業自得だ。
- ・全然風邪を引かず、贅肉だらけ。
- ・数珠をずつつけながら、
ずんずんと進んでいく。

- ・頭脳明晰でズバリと凶星を指す。
- ・ぞろぞろ草履で通る雑巾売り。
- ・全校でぜひぜひ是非々をとろう。
- ・雑誌好きなキザなあいつは残念だ。
- ・ある罪人の座右の銘「座頭のさんげ」

(バ行)

- ・バカな馬車売りが晩のバスで
薔薇をバラバラにした。
- ・バルコニーでバンバン売買されたバンドの本を
読みながらMBSの放送を聞く。
- ・ぼんくらな坊主がボンボンと鐘を鳴らす。

- ・ビルにいる美人がビールの瓶を
ビロードでぬぐったら、いびつな形になった。
- ・ブリをぶらりとぶら下げながら、
ブルドックに噛み付かれ、不気味だ。
- ・弁当を食べるのは、ベストな判断だ。

(パ行)

- ・パパと行くピクニックは
パンやアップルパイなどを持っていこう。
- ・ピンクのピストルをうち、ピークに達する。
- ・プールでプリンをプリンセスが食べた。

- ・ポールがポストにぼんぼん投げ入れた。
- ・ペーパードライバーがペースを上げる。
- ・ピクルスを持った彼がびくびくしている。
- ・へんびなべんぱつの亡命者。

(キヤ行)

- ・キャンプ中に犬がキャンキャン鳴く。
- ・今日は京都へいくのを拒否。
- ・急遽、球技大会を休止します。

- ・救急車で緊急搬送されて救命士にきゅんきゅん。
- ・キャストがキャベツを食べるのを却下する。
- ・協力者と共謀して、許可証を得る。

(シヤ行)

- ・菜食主義者が書道で賞状をもらった。
- ・右者の主義思想と左者の主義思想は違う。
- ・春分の日と秋分の日。

- ・主義・主張・習慣・趣味・収入などを
集中して多種類記入してください。
- ・社会の授業で試合の勝敗を主観的に述べた。

(チャ行)

- ・中国の中佐が中将に注射をしなさいと
忠心から忠告した。
- ・茶人千利休が好んだ茶室。

- ・あの朝鮮の朝廷のシーンはちよつと誇張しすぎだ。
- ・その中学校は、山の中腹にある貯水池の近くに
あるので、途中下車せず夢中で行った。

(ニヤ行)

- ・のら如来、のら如来、
三のら如来に六のら如来。
- ・牛乳の輸入に関するニュースをお伝えします。

- ・あのにゃんこはにやけていない。
- ・入学式で入門書を手する。
- ・女房役の野田さん、によるにょろつと現れる。

(ヒヤ行)

- ・羊皮紙の表紙の批評集。
- ・ひゆるひゆると風が吹く。
- ・標準的な表示は評価できない。

- ・百発百中で百戦百勝。
- ・表敬訪問で表彰式を行なう。
- ・表情が評判な評論家の表明。

(ミヤ行)

- ・脈絡のない文脈なので間が抜けた。
- ・明後日の明朝みょうごにちに妙案が思いつく予定だ。みょうちよう
- ・ミヨーパーンの結晶が妙に変だ。

(リヤ行)

- ・リヤマはリヤノで飼われていない。
- ・流用されて、粒粒辛苦だ。
- ・両国国技館で療養所を開く。

(ギヤ行)

- ・逆上して虐待しているギヤング。
- ・漁業者は漁期に入って遠洋漁業に出かけたが、漁獲競争が激しく、漁獲高は減少した。

(ジャ行)

- ・邪推から邪魔者扱いされたジャコバン党の人が、ジャンジャン砂利を投げた。
- ・十五時十分、新宿発の電車に乗車。

(ビヤ行)

- ・伝染病予防病院の病室で病没する。びょうぼつ
- ・ビュツフエでビューティーな人がビューローを見ていた。

(ピヤ行)

- ・ポピュラーソングの大合評会。
- ・ピューリタンがトマトピューレを作ってピュアなピュタグラスが怒った。

(鼻濁音)

- ・次に右の鍵を開けると、見事なあごひげの老人が無言でヤギとウサギとねぎを次々と渡した。
- ・長野の嵯峨さん、かごであごを上下したので、外国人が次々と逃げ出した。

- ・ミュールをつけたミュージシャンが

ミュージカルでトマスⅡミュンツァーについて語る。

- ・きやりーばみゆばみゆ (3回)

- ・竜王の流行は狩猟だ。

- ・良妻賢母な寮長が了承した。

- ・琉球で留学生が硫酸を垂れ流す。

- ・ぎゅうぎゅう詰めにした牛乳屋。

- ・農業科を卒業し、乳牛の世話と農作業をしていたが、出家して修行に励む。

- ・巡查が自分の住居のじゅうたんの上で柔道柔術の授業をしている。

- ・儒者の儒者くさきは真実の儒者ならず。

- ・白狐びやくこが白衣びやくいの行者に変身する。

- ・病弱な彼の病状は良くなく、秒針すら見えないという描写。

- ・蛙びよこびよこ 三びよこびよこ
あわせてびよこびよこ 六びよこびよこ

- ・苦行のすえ、修行を制覇した。
- ・珠玉の一品を売る店では、金魚鉢が置いてある。
- ・すぐに家具・器具を荷車に積み込んで逃げた。

ういろう 外郎売り

(ルビが一部違ってきますので、ご注意ください)

拙者親方と申すは、お立ち会いの中に、御存知のお方も御座りましょうが、御江戸を発つて二十里上方、相州小田原一色町をお過ぎなされて、青物町を登りへおいでなされるれば、欄干橋虎屋藤衛門、只今は剃髪致して、円齋となります。元朝より大晦日まで、お手に入れます此の薬は、昔ちんの国の唐人、外郎という人、我が朝へ来たり、帝へ参内の折から、この薬を深く籠め置き、用ゆる時は一粒ずつ、冠のすき間より取り出す。依つてその名を帝より、とうちんこうと賜る。即ち文字には、「頂き、透く、香い」と書いて「とうちんこう」と申す。只今はこの薬、殊の外世上に弘まり、方々に似看板を出し、イヤ、小田原の、灰俵の、さん俵の、炭俵のと、色々に申せども、平仮名をもつて「ういろう」と記せしは、親方円齋ばかり。もしやお立ち会いの中に、熱海か塔ノ沢へ湯治にお出でなされるか、又は伊勢参宮の折からは、必ず門違いなされますな。お登りならば右の方、お下りなれば左側、八方が八棟、表が三棟玉堂造り、破風には菊に桐のとうの御紋を御赦免あつて、系図正しき薬でござる。イヤ最前より家名の自慢ばかりを申しても、御存知ない方には、正身の胡椒の丸のみ、白河夜船、さらば一粒食べかけて、その気見合いをお目にかけてみましょう。先ずこの薬をかように一粒舌の上にのせまして、腹内へ納めますると、イヤどうも云えぬは、胃、心、肺、肝がすこやかになりて、薫風喉より来たり、口中微涼を生ずるが如し、魚、鳥、茸、麵類の食合わせ、其の他、万病速効ある事神の如しさて、この薬、第一の奇妙には、舌のまわる、ことが、銭ゴマがはだしで逃げる。ひよつとしたがまわり出すと、矢も盾もたまらぬじゃ。そりやそら、そらそりや、まわつてきたわ、まわつてくるわ。アワヤ咽、さらな舌にカ牙サ歯音、ハマの二つは唇の軽重、開合さわやかに、あかさたなはまやらわ、おこそとのほもよろを、一つへぎへぎに、へぎほしはじかみ、盆まめ、盆米、盆ごぼう、摘立、摘豆、つみ山椒、書写山の社僧正、粉米のなまがみ、粉米のなまがみ、こん粉米の小生がみ、繻子ひじゅす、繻子、繻珍、親も嘉兵衛、子も嘉兵衛、親かへい子かへい、子かへ

い親かへい、古栗の木の古切口。雨合羽か、番合羽か、貴様のきやはんも皮脚絆、我等がきやはんも皮脚絆、しつかわ袴のしつぽころびを、三針はりなかにちよと縫うて、ぬうてちよとぶんだせ、かわら撫子、野石竹のら如來、のら如來、三のら如來に六のら如來。一寸先のお小仏におけつまずきやるな、細溝にどじよによろり。京のなま鱒奈良なま学鯉、ちよと四、五貫目、お茶立ちよ、茶立ちよ、ちやつと立ちよ、茶立ちよ、青竹茶せんでお茶ちやと立ちや。

来るは来るは何が来る、高野の山のおこけら小僧。狸百匹、箸百膳、天目百杯、棒八百本。武器、馬具、ぶぐ、ばぐ、三ぶぐばぐ、合わせて武器、馬具、六ぶぐばぐ。菊、栗、きく、くり、三菊栗、合わせて菊栗六菊栗、麦、ごみ、むぎ、ごみ、三むぎごみ、合わせてむぎ、ごみ、六むぎごみ。あの長押の長薙刀は、誰が長薙刀ぞ。向こうの胡麻がらは、えのごまがらか、あれこそほんの真胡麻殻。がらびい、がらびい風車、おきやがれこぼし、おきやがれ小坊師、ゆんべもこぼして又こぼした。たあぶぼぼ、たあぶぼぼ、ちりから、ちりから、つつたつぽ、たつぽたつぽの一丁だこ、落ちたら煮て食お、煮ても焼いても食われぬものは、五徳、鉄きゆう、かな熊童子に、石熊、石持、虎熊、虎きす、中にも、東寺の羅生門には、茨城童子がうで栗五合つかんでおむしやる、かの頼光のひぎもと去らず。鮎、きんかん、椎茸、定めて後段な、そば切り、そうめん、うどんか、愚鈍な子新発地。小棚の、小下の、小桶に、こ味噌が、こ有るぞ、小杓子、こ持つて、こすくつて、こよこせ、おつと合点だ、心得たんぼの川崎、神奈川、程ヶ谷、戸塚は、走つて行けば、やいとを摺りむく、三里ばかりか、藤沢、平塚、大磯がしや、小磯の宿を七つ起きして、早天早々、相州小田原とうちん香、隠れござらぬ貴賤群衆の花のお江戸の花ういろ。あれあの花を見てお心をおやわらぎやという。産子は這子に至るまで、この外郎のご評判、ご存じないとは申されまいつぶり、角出せ、棒出せ、ぼうぼうまゆに、臼、杵、すりばち、ばちばちぐわらぐわらぐわらと、羽目をはずして今日お出でのいずれも様に、上げねばならぬ、売らねばならぬと息せい引つぱり、東方世界の薬の元締め、薬師如來も照覧あれと、ホホ敬つて、ういろうは、いらつしやりませぬか。

㊤ みなさん、こんにちは。私は（ ） 中学校出身の（ ）です。よろしくお願ひします。

㊤ MBSでは皆さんからのリクエストをお待ちしています。流して欲しい曲がありましたら、CDまたはMDを放送室もしくはお近くの放送部員までお持ちください。また、放送室前にリクエストボックスも設置しているので、そちらもご利用ください。そして、インターネットからのリクエストも行っています。「吳三津田高校放送部」で検索してください。

㊤ 高校生が日頃の校内放送活動の成果を発表する全国高校放送コンテストが昨日から行われています。このコンテストは全国放送教育研究会連盟とNHKが主催し、今年で五十八回目を迎えます。ドキュメントやドラマの優秀作品は来月NHKのラジオとテレビで放送される予定です。

㊤ みなさんはトランプのマークが何をかたどったものか知っていますか。実はあのマークは14〜15世紀のヨーロッパ社会層のシンボルなのです。

スピードは貴族の持つ槍、つまり貴族階級の象徴です。ダイヤは宝石で商人を表しています。クラブは棍棒の形で農夫を意味しています。ハートは聖杯をかたどったもので僧侶の象徴なのです。

ちなみにスピードのエースだけが大きいのはイギリスがカードに課税していた頃の名残です。それは当時、納税を証明するカードがスピードのエースと決められていたからです。

㊤ 岩野の外には、水面に大小二ひきの水すましが遊んでいた。彼等は小なるものが大なるものの背中に乗っかり、彼らは唐突なかえるの出現に驚かされて、直線をでたらめに折りまげた形に逃げまわった。かえるは水底から水面に向かって勢いよく律を作って突進したが、その三角形の鼻先を空中に現わすと、水底に向かって再び突進したのである。

山椒魚は、これからの活潑な動作と光景とを感動の瞳で眺めていたが、やがて彼は自分を感動させるものから、寧ろ目を避けたほうがいいということに気がついた。彼は目を閉じてみた。悲しかった。彼は彼自身のことを譬えば、ブリキの切屑であると思ったのである。

誰しも自分自身をあまり愚かな言葉で譬えてみることは好まないであろう。ただ不幸にその心をかきむしられる者のみが、ブリキの切屑だなど考えてみる。確かに彼等は深くふところに手をして物思いに耽ったり、手ににじんだ汗をチョッキの胴で拭ったりして、彼等ほど各々好みのままの恰好をしがちなものはないのである。

山椒魚は閉じた目蓋を開こうとはしなかった。何とすれば、彼には目蓋を開いたり閉じたりする自由と、その可能とが与えられていただけであったからなのだ。

① 1人呼び出す場合

お呼び出しいたします。

- () () 年生 () () 組 () () 君/さん
- () () 年生 () () 組 () () 君/さん
- () () に () () まで来ててください。

- () () 年生 () () 組 () () 君/さん
- () () に () () まで来ててください。

③ 複数呼び出す場合(違うクラス・4人以下)

お呼び出しいたします。

- () () 年生 () () 組 () () 君/さん
- () () 年生 () () 組 () () 君/さん
- () () 年生 () () 組 () () 君/さん
- () () 年生 () () 組 () () 君/さん
- () () に () () まで来ててください。

⑤ 先生を呼び出す場合

お呼び出しいたします。

- () () 科の () () 先生
- () () 科の () () 先生
- () () に () () まで来ててください。

- () () 科の () () 先生
- () () に () () まで来ててください。

※物理・生物科などは「理科の」、社会科も同じ。

⑦ クラブを呼ぶ場合(放送部除く)

お呼び出しいたします。

- () () 部の人は
- () () に () () まで来ててください。
- () () 部の人は

② 複数呼び出す場合(同じクラス・4人以下)

お呼び出しいたします。

- () () 年生 () () 組 () () 君/さん
- () () 年生 () () 組 () () 君/さん
- () () 年生 () () 組 () () 君/さん
- () () に () () まで来ててください。

- () () 年生 () () 組 () () 君/さん
- () () に () () まで来ててください。

④ 5人以上呼び出す場合

お呼び出しいたします。

- 次に呼ぶ生徒は () () に () () まで来ててください。
- () () 年生 () () 組 () () 君/さん
- (以下略)
- () () に () () まで来ててください。

- () () 年生 () () 組 () () 君/さん
- (以下略)
- () () に () () まで来ててください。

⑥ 委員を呼び出す場合

- () () 年生 () () 組の () () 委員の人は
- 〓 () () しに () () に () () まで来ててください。

- () () 年生 () () 組の () () 委員の人は
- 〓 () () しに () () に () () まで来ててください。

⑧ 放送部を呼ぶ場合

お呼び出しいたします。

- 放送部員は () () に () () まで集まってください。
- 放送部員は () () に () () まで集まってください。

() () に () () まで来てください。

⑨ 授業場所を変更する場合

お伝えいたします。

() () 年生 () () 組の () () 時間目の授業は、

() () で行います。遅れないように移動して下さい。

() () 年生 () () 組の () () 時間目の授業は、

() () で行います。遅れないように移動して下さい。

⑪ 補習が休講予定通り行われる場合

() () 年生 () () 系の () () の補習は

休講いたします。予定通り行います。

間違えないように注意して下さい。

() () 年生 () () 系の () () の補習は

休講いたします。予定通り行います。

間違えないように注意して下さい。

⑬ 集会等を行なう場合

お伝えいたします。

() () 時から () () で () () を行います。

遅れないように注意して下さい。

() () 時から () () で () () を行います。

遅れないように注意して下さい。

⑮ グラウンド朝会時の放送

今日は生徒朝会です。

生徒の皆さんはグラウンドに集合してください。

今日は生徒朝会です。

生徒の皆さんはグラウンドに集合してください。

⑰ 美化日の時の放送

今日は美化日です。

隅々まできれいにしましょう。

今日は美化日です。

隅々まできれいにしましょう。

⑩ 授業場所を教室に変更する場合

お伝えいたします。

() () 年生 () () 組の () () 時間目の授業は、

教室で行います。間違えないように注意して下さい。

() () 年生 () () 組の () () 時間目の授業は、

教室で行います。間違えないように注意して下さい。

⑫ 補習の時間場所を変更する場合

() () 年生 () () 系の () () の補習は

予定を変更して () () に () () で行います。

間違えないように注意して下さい。

() () 年生 () () 系の () () の補習は

予定を変更して () () に () () で行います。

間違えないように注意して下さい。

⑭ 教材を購入する場合

お伝えいたします。

() () 年生の () () の教材を () () で販売しています。

忘れないように購入してください。

() () 年生の () () の教材を () () で販売しています。

忘れないように購入してください。

⑯ 放送朝会時の放送

今日は放送朝会です。

生徒の皆さんは教室で待機してください。

今日は放送朝会です。

生徒の皆さんは教室で待機してください。

⑱ お帰り放送

5時25分になりました。過ぎました。

全日制は下校時間です。

校内に残っている生徒の皆さんは

戸締りをして、下校してください。

(少し間を空けて、繰り返し)

電話応対などについて

- ・ 組、名前、いつ、どこに来るかをメモする。
- ・ 「すぐに」や「至急」は使わずに、「直ちに」を使う。
- ・ 「時間厳守で」や「遅刻しないように」は使わず、「遅れないように」を使う。
- ・ 放送前に必ずクラスと名前を確認する。
- ・ 依頼後、できるだけ早く放送する。
- ・ 放送前に一度練習する。
- ・ 物を食べながら電話に出ない。もちろん、物を食べながら放送をしない。

(例)

先生「あの、すみません、放送いいですか？」

部員「はい」

先生「2年3組加久保君、荒川さん、2年5組高村君は至急進路の中村まで。」

部員「すみません、2年5組はだれでしたか？」

先生「高村君です。」

部員「わかりました。2年3組の加久保君と荒川さん、2年5組の高村君は直ちに進路指導室の中村先生の所ですね。」

先生「それでお願います。」

部員「はい、分かりました。」

♪ピンポンパンポン

部員「お呼び出し致します。2年生3組加久保君、荒川さん、2年生5組高村君。

2年生3組加久保君、荒川さん、2年生5組高村君。

直ちに進路指導室の中村先生のところまで来てください。

2年生3組加久保君、荒川さん、2年生5組高村君。

直ちに進路指導室の中村先生のところまで来てください。」

インタビューと簡潔な4U9U

ドキュメントやアナウンスの取材でインタビューをしたいと思います。そのような時に参考にして下さい。

- 1、何を聞くか、問題点の把握をすること。
- 2、ある程度の構想を考えておくが、それにこだわらず話の流れに乗ること。
- 3、分かりやすい簡潔な質問で、多くの答えを引き出すこと。
- 4、相手の言葉を発展させること。

(注意) 一問一答にならないように気をつけること。

